

## 型入れと切り分け .....



3

混合物を固める

2の混合物を型に注ぎ、室温に約24時間ほど置いて固めます（環境により異なる場合があります）。急速に温度が下がると苛性ソーダとベース油が十分に反応しないため、タオルなどで型を包み保温してください。



4

切り分けて熟成・乾燥させる

約24時間後、型入れから固まった混合物を取り出し、好みのサイズに切り分けます。さらに冷暗所で約4週間、熟成・乾燥させると、石けんの完成です。  
 (写真の石けんは、2の混合物を2つに分けて片方を色素で色付けし、ひとつの型に併せ入れて固めたもの)

**注 意**

使用する油の性質によって熟成期間は異なります。

### アン・マリー・ケントさんからのアドバイス

手作り石けんは材料を自分で選べるので、使うのも安心です。自分好みの色や香りを着けることもでき、作る楽しみもあります。しかし手作り石けんの材料となる苛性ソーダは、強アルカリ性で使い方によってはとても危ないものなので、使用する際は必ずゴーグルと手袋を着用し、換気の良い場所で作業してください。

## 油と苛性ソーダの分量で でき上がる石けんの 使用感が異なる

使用する油の種類や配合比率、苛性ソーダの分量などにより、でき上がった手作り石けんの使用感は変わります。いろいろな油を試してみて、自分の好みに合った石けんを作るのも手作り石けんの楽しみの1つです。使用する油に対する苛性ソーダの分量は、例えばキャノーラ油(500g)に対しては約63g、マカダミアナッツ油(500g)に対しては約66gなど、油の種類によって多少異なります。下記に、スーパーマーケットなどで手に入れ易い油(500g)に対して、必要な苛性ソーダの分量を表にまとめました。今回、紹介した油以外で石けんを作る場合は参考にしてください。

**【油500gに対して必要な苛性ソーダの量  
（石けんの中に苛性ソーダが残留しない目安の量）】**

アボカド油 .....	約 65g
オリーブ油 .....	約 64.5g
キャノーラ油 .....	約 63g
グレープシード油 .....	約 63.5g
サンフラワー油 .....	約 64g
セサミ油 .....	約 63g
ピーナッツ油 .....	約 65.5g
マカダミアナッツ油 .....	約 66g

一般的に、上記の表の値よりも苛性ソーダの量を少なくすることで未反応の油が残り、基本的にしっとりとした石けんになります。また、苛性ソーダの分量が表の値よりも多いと苛性ソーダの成分が石けんに残留し、肌荒れなどの問題を引き起こすことがあります。ただし、使用する油の種類によっても石けんの性質は変わります。